

読売

教育ネットワーク

社会はまるごと学校——
すべての大人が先生です



大阪大病院で行われた心臓移植手術を見学する高校生(奥)。医学部を目指す生徒32人が大阪大と順天堂大の医療チームに密着した(2～5面へ)

巻頭特集

医学部目指す高校生32人 大学病院の最前線へ

早期医療体験プログラム

順天堂大学 2・3 大阪大学 4・5

新聞@スクール 読売新聞で新企画スタート 6

「大学の實力」セミナーに約60人 7

お知らせ 8 米ウェズリアン大 ニューイングランドにある学生のユートピア 9

2017.10

Vol.34

「命の重み」体感

医学部目指す高校生32人 大学病院の最前線へ

早期医療体験プログラム

医学部を目指す高校生が、医師の心構えや覚悟を実際の医療現場で学ぶ「早期医療体験プログラム」が、今夏も行われた。2年前から高校生を受け入れる順天堂医院（東京都文京区）に加え、大阪大病院（大阪府吹田市）でも新たに実施。順天堂では心臓血管外科と小児外科に密着し、大阪大では異例の心臓移植手術に立ち会うなど、「命の重み」を胸に刻んだ。読売教育ネットワーク参加校から選ばれた生徒32人は、東西2大学で何を学んだのか。ひと夏の医療体験を追った。



山高教授(右)からは強いプロ意識を学んだ

説明責任とコミュニケーション力

「無理な操作をして血管が裂け、心臓まで到達したら……まず止血はできません」。2歳男児の左肺の一部を、胸腔鏡で切除する難手術。順天堂大小児外科の古賀寛之先生（44）が説明すると、母親（40）の目から涙があふれた。

手術前にその内容を患者や家族に説明し、同意を得る「インフォームド・コンセント」。小児病棟の一室で立ち会った東京都立日比谷高2年・吉村優香さんは、「ショッキングな内容で泣きそうになった」。渋谷教育学園園幕張高2年・本谷嶺奈さんも、目を赤くして聞き入る。医師に

プロ意識に圧倒される

翌日、手術は5時間近くに及んだ。執刀した山高篤行教授（59）は手術が終わると、すぐさま母親の待つ別室を訪

「無理な操作をして血管が裂け、心臓まで到達したら……まず止血はできません」。2歳男児の左肺の一部を、胸腔鏡で切除する難手術。順天堂大小児外科の古賀寛之先生（44）が説明すると、母親（40）の目から涙があふれた。

準備万全なら自信持てる

患者の同意を得たうえで、支障がない範囲で手術の全てを高校生に見せるのが天野篤教授（61）の方針だ。

「心を鍛えなければ……と感じた佐藤さんに、教授は一つの訓練法を授けた。「電車で座席を確保し、お年寄りや体の不自由な人に声をかけるんだ。行動力と勇気が必要だからね。僕もやっていたよ」

名医とは？

名医の定義を教授から問われたのは埼玉県立川越高3年・荒川晴紀さんだ。「患者と全力で向き合える医師」と答えたが、教授の考えは違った。「患者の現在だけでなく、10年後、20年後の未来をしっかりと見通せる医師が名医だと思う」その現場を、渋谷教育学園



外科に携わる覚悟はあるか……集中してプログラムに参加した

渋谷高3年・加藤乃愛さんはまさに目の当たりにした。「まだ若い男性患者の詰まった心臓血管のバイパス用に、本人のどの血管を使うか。持病や再手術を考慮し、将来のためにどれを温存するかまで、慎重に検討していた」と驚き、患者に寄り添う医療の姿を見た思いがした。

手術を終えたばかりの患者を見舞う天野教授(右)と生徒たち



ねて開口一番、「肺は無事摘出できました」。続けて、カテーペンとメモを取り出し、手術の流れ、想定外への対処法を丁寧に再現した。顔をほころばせて聞き入る母親を見守った本谷さんと吉村さん。ふと、「なぜ1秒を争うように詳細に説明するんだらう」という思いがよぎった。

生涯をささげられる仕事

本谷さんは小学生時代、小

この疑問に、教授はぐっと身を乗り出して答えた。「どんな手術でも常に反省点と改良点はある。記憶が鮮明なうちに説明してメモとして残さないと、さらに上のレベルにはいけない」。強いプロ意識に2人は圧倒された。

教授は外科医に最も必要な資質として、忍耐を挙げる。「良い医師になるには自分が厳しく鍛えることが必要だが、力がつくには時間がかかる。つらいけれど楽しいと感じられるか。自分がどれだけ医師の仕事に興味を持てるかを考えてほしい」とエールを送った。

持久力と即応性鍛えて

医師を志す人に、「具体的にどんな仕事をしたいのか」「どんな環境で働いているのか」を医療者の視点で見てもらい、早い時期から将来を見極めてほしいと考え、このプログラムを始めた。

今年の生徒からは医師になることを既に決め、その決意を確かめに来ている姿勢を感じた。医師に必要な資質を問われたが、高校生の段階では持久力と即応性を鍛えておくべきだろう。本来、こうした試みは国などがリードすべきだが、なかなか難しい。我々の取り組みが突破口になればと考えている。



天野 篤

Amano Atsushi
順天堂大学
心臓血管外科教授

多くを得た4日間

最初はブルブル、そしてだんだん大きく。人工心肺で止めていた心臓が再び拍動する様子に驚いた。興味のあることを学ぶことができ、多くを得た4日間だった。

城内薫乃さん(南山高女子部2年)

目指す道決まった

フランス人留学生やウイグル出身の大学院生。国際色豊かな現場で色々な刺激をもらった。女性医師から子育ての話も聞け、結婚、出産と両立出来ることも分かった。目指す道が決まった。

木村真由美さん(学習院女子高等科2年)

順天堂大学

- 《埼玉》 県立浦和第一女子
県立川越
県立川越女子
開智
- 《東京》 鷗友学園女子
学習院女子高等科
渋谷教育学園渋谷
成城学園
豊島岡女子学園
都立小石川中等教育学校
都立立川国際中等教育学校
都立日比谷
- 《千葉》 市川
渋谷教育学園幕張
- 《愛知》 海陽中等教育学校
南山高女子部

参加高校

早期医療体験プログラム

「何のために医師に」自問

重症心不全治療「最後の砦」とされる大阪大病院。その救命最前線に、同大心臓血管外科は高校生16人を受け入れた。生徒たちは3グループに分かれ、メンター（助言者）役の医師とともに手術を見学したり講義を受けたりして、「命とは何か」「何のために医師になるのか」を考えた。

命のリレー 緊迫の心臓移植を見学

手術室に入ると、ひんやりした冷気が体を包んだ。移植を待つ患者の心臓を映すモニターが、目に飛び込む。間もなく届くドナー（臓器提供者）の心臓を冷やす氷を、ハンマーで砕く音が響く。手術着に身を包んだ生徒6人の背筋が、思わず伸びた。

「ドナーの心臓が空港に到着した」との医師の声に、生徒の表情に緊張が走る。前日の説明で、それが移植を受ける患者の心臓を取り出すタイミングだと聞いていたからだ。ドナーの心臓摘出から移植まで、タイムリミットは4時間。それを過ぎると機能は急激に落ちる。届いたばかりの心臓を患者の体へ。細い糸の巧みに操り、心臓と患者の血管を素早く縫合する。「動

き出したぞー」。手術室到着から1時間20分、心臓が力強く鼓動を打ち始めた。分刻みの連携プレーに圧倒されるが、生徒は「命のリレー」を見守った。

「様々な思い」かみしめて その日の夕方、生徒は移植について、「貴重な体験だった」「移植は、臓器提供を希望するドナーと、臓器を待ち望む患者が結びついた円満な解決策」と話した。だが、命の重さ、臓器の提供を決定したドナー家族の思いに、言及した生徒はいなかった。

命預かる覚悟 生徒の目の色が変わった。手術3日後には移植を受けた患者と面会。「心臓の拍動を前より強く感じますか」「感じませんが、体が熱い」。指導役の齊藤哲也医師（39）を介し、熱心に会話を交わした。東大寺学園高2年の西村一真さんは、「止まっていたドナーの心臓が患者の体の一部になるのを目の当たりにし、医療の力に圧倒された。命を預かる覚悟を持ち、改めて医師を目指したいと思った」と話した。生徒一人ひとりに大きな課題を突きつけて、5日間にわたる濃密なプログラムは終わった。



全身の循環を止めて行われる心臓手術を、祈るようにして見守った

小さな命から学んだ

小児病棟の一角。生徒4人は移植を待つ子ども向けの「お散歩会」に参加した。子どもたちが着けているのは拳ほどの大きさの体外ポンプ。全身の血液循環を補う命綱、補助人工心臓だ。

とすこともあると知った。「命を脅かす病気はむごい。その病と立ち向かう医師は不可欠だ」。子どもと家族を懸命に支える医療チームと5日間を過ごした永堀さん。「患者の不安を少しでも和らげる医師になる」と前を向いた。



補助人工心臓を着けて移植を待つ女の子（中央）と触れ合う生徒たち

夜のICU 激務と情熱に胸熱く

「医師は頭で仕事ではない、心でするんだ」。洛南高2年・合屋智尋さんの発見だ。

初日、生後間もない男児の心臓手術を6人で見学した。「動脈を取り替えて血流を正常に戻す以外、助かる道はない」。担当医は8時間に及ぶ手術の後、「80年動く心臓になった。これから徹夜で看病です」と額の汗をぬぐった。この言葉に合屋さんのスイッチが入った。「一緒にこの子

を見守りたい」と夜の集中治療室（ICU）密着を志願した。自ら血液検査や点滴交換をし、男児のベッドサイドで不整脈を警戒する担当医。「手術で疲れているはずなのに、頭をなでて『今晚が一番しんどいな。がんばれよ』と話しかけていた」。患者に心から向き合っていると思った。

電気メスの音、皮膚の焦げにおい……。衝撃を受けた合屋さんだったが、「何としても助けるといふ先生たちの思いに触れるうちに、手術中の手の動き一つ一つが輝いて見えるようになりました」。日中は手術と外来見学、夜は病棟回診の付き添い。医療チームを追い続け、目指す姿が見え始めた。「患者さんに忘れてもらえる医者」。病を治し、患者が闘病中を思い出さないうらい全力でサポートする。「とてつもなく大きな目標。知識や技量だけでなく心も磨く」。合屋さんの誓いだ。



ドナーの家族の思いに涙を流す

10年先の医療考えて

高校生受け入れには迷いもあった。だが、患者を助けるため、どれだけ真剣に仕事をしているのか、医師の情熱を見てもらうためにプログラムを行った。移植手術は新鮮な体験だ。待たなければならぬ、患者のつらさも感じてくれたはずだ。

大阪大が最も重視しているのは教育だ。多くのスタafferレーヤーを育て日本の心臓外科をレベルアップするのが我々の使命。高校生には、10年先の医療を考えてほしい。それができれば、医者としての目標がよりクリアになる。



澤 芳樹

Sawa Yoshiki 大阪大学 心臓血管外科教授

救えない命救える医師に

重い心臓病で入院していた男児は、一度も地面を歩いたことがなく、信じられないほど足の裏が柔らかかった。可能な治療は尽くしたと聞いたが、救えない命を救える医師になりたい。

山田和輝 さん（清風高2年）

最先端の医療に感動

大動脈弁のカテーテル手術は1時間で手術が終了。最先端の医療に感動した。「常に10年先を考え、大きな夢を持って」という澤教授のアドバイスにも胸が高鳴った。

一色咲樹 さん（神戸女学院高等学部2年）

大阪大学

- 開智 開智
京都 洛南
大阪 大阪教育大付属天王寺
府立茨木
府立北野
大阪星光学院
清風
兵庫 神戸女学院高等学部
灘
奈良 東大寺学園

参加高校



新聞読んで授業で活用

読売新聞で新企画スタート

読売新聞の教育面と各地域版で、新企画「新聞@スクール」が始まった。教室での新聞活用は学習指導要領に位置付けられたものの、実際にどうしたらいいのか。そんな教育現場の声に添えて、「使える新聞」をお届けしていきます。

学校での新聞活用は着実に広まっている。背景には、読解力の向上が課題となつて文部科学省の学習指導要領に新聞の活用が盛り込まれ、2011年以降、小中高校で実施されていることがある。

こうした現場で、新聞をさらに役立ててもらおうと読売新聞が始めたのが「新聞@スクール」だ。地域版では、地方支局の支局長らベテラン記者が学校に出向く「出前授業」の様子を随時掲載する。記者たちが自らの取材経験を交えながら、新聞の面白さを語る。新聞を効果的に活用している先生方の授業も、折に触れて紹介していく。

未来を切り開く子供たちに、いっそう新聞に親しんでもらいたい。

北海道

メディアリテラシーについて考えた北海道での出前授業



秋田

新聞を楽しく読むコツを伝えた秋田県での授業

「読解力を高めるために新聞が役に立つ」とアドバイスした北九州市での授業



北九州

青森

独自科目「新聞を読もう」@青森・百石高

見出し作りで要点つかむ

「今日は、記事の見出しを考えてもらいます」9月14日、青森県立百石高校(おいらせ町)で保健体育担当の阿部睦子教諭(43)が11人の生徒に呼び掛けた。

配られたのは、東北地方などで行われたアイスホッケーとカーリングの試合結果を報じた記事。見出しは空白になっている。生徒たちは不安そうな表情を浮かべ、静かに記事を読み始めた。約15分後、2、3人のグループに分かれ、考えた見出しと記事に対する感想を発表し合った。「フリープレイズ 首位をキープ」とつけた乙山詩織さん(17)は「短いタイトルを考えると、文章の要点が分かってくる」と語った。

阿部教諭は「新聞を活用した授業を続けると、生徒は文章を読むことや自分の意見を発表することに抵抗がなくなる」と話した。

気になる記事をスクラップ

同校は、2013年度から、2年生を対象にした学校独自の科目「新聞を読もう」を設けている。週1回、年間計約30コマの授業があり、毎回、気になった記事でスクラップノートを作り、新聞に慣れていく。前半に新聞の構成や読み方を学び、後半で教科ごとに新聞を取り入れた授業を行う。「保健体育」では、色々なスポーツの歴史を学び、「商業・情報」では為替相場や企業情報などの経済ニュースに親しむ。コラムや投書欄も読み込む。

新聞社や地元企業から講師を招き、6月に

は読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局の鈴木美潮記者が新聞の読み方を講義した。

科目を企画した平野博文教諭(43)は「ニュースを話題に、世間話ができる生徒が増えていく」と新聞の効用を語った。



新聞を読んで、興味を持った記事を切り抜く生徒たちにアドバイスする阿部教諭

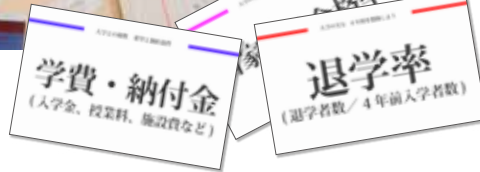
「偏差値」以外の
物差しは？

「大学の實力」セミナーに約60人

全国692大学の最新データを満載した「大学の實力2018」(中央公論新社)の出版を機に、読売新聞東京本社教育ネットワーク事務局は9月30日、中高生や保護者、教員を対象にしたセミナー「大学の實力」を読み解く——偏差値で選んでいいの?」を本社で開いた。子どもとその保護者約10組と高校の進路指導担当者ら計約60人が参加した。



塩瀬准教授(右奥)が見守るなか、自分が選んだカードについて説明する高校生(中央)



「大学の實力」調査は、偏差値や知名度ではなく教育の出身で大学を選んでもらうとうと、読売新聞が2008年から毎年実施している。調査項目は、文部科学省でも把握が難しいとされる退学率や留年率、正規雇用(就職)率など多岐にわたる。全国の大学に調査票を送り、今年のは返率は92%に上った。

「自分の選択」説明する力を

セミナーでは、キャリア教育に取り組み塩瀬隆之・京都大准教授が登場。「大学や就職先を選ぶ際、自分で自分の選択を説明する力を持たないと、苦しくなった時に耐えられない。大学としては出したいくないだろうデータが赤裸々に掲載された『大学の實力2018』を基に、大学の實力を見極める力を皆さんに持ってほしい」と講演し、進路選択の際には情報を基に自らを納得させる理由を持つことが重要だと指摘した。

講演に続いて、「大学の實力2018」に掲載された調査データを活用するワークショップ「大学の實力バイキング」を開催。料理のバイキングと同様

に、「主食」「主菜」「副菜」「汁物」「果物」に見立てられたカードが用意された。

「主食」「副菜」など組み合わせ

カードのうち「主菜」カードには、大学・学部ごとの退学率や入試方法別退学率、卒業率、正規雇用率など「大学の實力」調査の主要項目が記されている。また「主食」カードは、入学難易度(偏差値)や通学方法、ブランド・評判といった大学選びの基準が記されている。

参加者は、大学を選ぶ際に重視したい項目について、「主食」「主菜」に見立てられたカードからは2枚ずつ、「副菜」「汁物」「果物」に見立てられたカードからは1枚ずつ、選び取るようあらかじめ求められた。参加者らはバイキングと同様に、自分が重視したいカードを手にとって食事トレイに載せていった。

ワークショップには、進路選択には偏差値以外にも多様な物差しがあると知ってもらおう狙いがある。後半では、高校生が各グループの大人に完成したトレイを見せて回った。

副菜にS T比(教員1人当た

りの学生数)、汁物に「外国人留学生数」を選んだ埼玉県内の高校1年生女子は、「少人数で学んでいると先生に質問しやすいし、同級生に外国人がいると英語の勉強になる」と選択理由を語った。終了後には、一緒に参加した母親に「自分が何を基準にして大学を選びたいか、イメージがわいた」と感想を話していた。

「視点の違いに気づいた」

参加者からは、「大人と子ども視点の違いに気づいた」(50代会社員男性)、「自分が何を重視したいか、ということが明らかにになった」(20代教員女性)、「親と子で考えていることが違うことがわかってよかった」(50代主婦)などの声が寄せられた。

「大学の實力バイキング」の具体的な進め方は、書籍「大学の實力2018」(中央公論新社)に掲載している。書籍の問い合わせは中央公論新社(03・5299・1730)へ。



「大学の實力2018」A4判 192ページ/1650円(税別)



佐藤智恵氏

だから最高峰は日本史に学ぶ 教授10人にインタビュー

世界最高の知性が集う米国のハーバード大学で、教員や学生たちは日本史について何を学び、どう議論しているのか。10人の教授へのインタビューをまとめたのが本書『ハーバード日本史教室』です。



『ハーバード日本史教室』

佐藤智恵著
中公新書ラクレ、820円+税

ドルー・ゴードン氏らそうそうたる顔ぶれが、真摯に、そして丁寧なインタビューに答えています。

著者の佐藤智恵氏は、1970年兵庫県生まれの作家・コンサルタント。これまでの取材でハーバード大学経営大学院の学生や教員が日本史について熱心に議論していることを知り、ハーバード大学全体でもっと多くの日本史についての授業があるのではないかといい、インタビューを始めた。

「源氏物語」に対する学生の意外な反応、明治維新の真の主役とは、広島、長崎への原爆投下は正当化できるのか、和食のどこがすごいのか——日本人が常識と思っ込んでいる歴史や文化について、教授たちは筋

プレゼント

『ハーバード日本史教室』を5人にプレゼントします。希望する方は必要事項を記入の上、メールでお申し込みください。締め切りは11月15日(水)です(応募多数の場合は抽選)。

■メール件名「ハーバード本プレゼント係」

①住所 ②氏名 ③職業(学校名) ④電話番号

■送信先: ednet@yomiuri.com

道を立てて考え、分析し、学生たちと議論を深めています。さらに、現代日本の課題、将来の展望だけでなく、米トランプ大統領についても率直に語っています。

「日本は生涯をかけて研究するに値する素晴らしい国」(アルバート・クレイグ氏)、「世界で非常に人気のある国」(エズラ・ヴォーゲル氏)、「日本という国が存在してくれてよかった」(アマルティア・セン氏)といった言葉におもはゆさを感じながらも、あらためて日本の役割について思いをめぐらすきっかけになる一冊です。

次世代の世界のリーダー候補の大学生を募集



次世代のリーダー育成を目指す学生団体、グローバル・ネクストリーダーズフォーラム(GNLF)が、2018年2月に開催する国際会議の参加者を募集しています。今回は7回目の会議で、「ジェンダー」をテーマに、世界13か国から参加する大学生ら50人が討論や活動、文化交流を通じて理解を深めます。特別後援◇読売新聞社 The Japan News

GNLF2018本会議 東京大会

■日程 2018年2月22日(木)～3月2日(金)

■会場 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・代々木)など

■参加予定国 キルギス/日本/ブラジル/ブルガリア/メキシコ/シンガポール/パキスタン/チュニジア/ハンガリー

■応募資格 2～5人を募集。2018年3月2日時点で日本の大学に所属している学部生であること。英語での議論・交流に積極的に参加する意欲があること。弊団体および会議の理念に共感いただけること。日本の大学に留学中の外国人学生の参加も歓迎。日本語力は不問。

■参加費 30,000円(宿泊費込み)

※会期中の交通費、食費は自己負担

■応募・選考の流れ

①プレエントリー(11月15日まで) ②個別説明会 ③本エントリー(自己紹介、志望動機、「ジェンダーについて考えること」などを提出) ④選考結果は11月30日までに連絡

■応募方法 GNLFのウェブサイトから

<http://jp.g-nextleaders.net/forum/tokyo-2018/>

■問い合わせ gnlf-hq@g-nextleaders.net

昨年の参加者



News



ウェズリアン大学

1831年に米コネチカット州ミドルタウンにある大学で、46学部、学部学生数は約3000人。少人数で質の高い教育を行っていることで知られている。

しかしながら、ジェンダー学、政治学、社会学を専攻する学生として、ウェズリアンという隔離され十分保護された環境での生活は、社会に対する主観や責任感を育むことより、社会的イデオロギー批判に終始してしまう偏りがあることに気づいた。難しい議論は実生活の経験とは必ずしも一致しない。教室でなされる偽善的で大げさな発言が、学生の日

常生活に影響を与えることはまれなのだ。この環境を変えようと、3年次の春学期、デンマークのDIPS（「スカンジナビア留学」の意味で、留学プログラムを提供しているNPO）に短期留学している。北欧にあるDIPSは、教育は「生きるため」の知識を備える場、という考えが色濃いのだ。私の専攻テーマは、性産業において、どのように親密性が資本として扱われているかだ。この夏、ニューヨークにある日本風キャバクラ（キャバレークラブ）とホステスクラブでフィールドワークを行う予定だ。このテーマについては来年卒業論を書く。デンマークでの時間は、世界のどこにいても、自分の人生をどう形成していくのかを考える完璧な機会となる。そうやってこそウェズでの学習体験が、私の人生に影響を与えたことになるのだ。（会報編集部抄訳「The Japan News」2017年3月26日）

「ウェズ」（ウェズリアン大学のこと）に来るまでずっと日本に住んでいたもので、このアメリカの精鋭たちの学術機関に飛び込んだときには慣れるまでずい分もだえたものだ。日常会話から学問的な討論に至るまで、自分と自分を取り巻く環境の間に異様な乖離すら感じた。英語の教授とは言い争いにさえなった。というのも、私も彼女もお互い相手が言おうとしていることが全く理解できなかったからだ。私の周りで起こるありとあらゆる波風が、まるで私を勉強者として未熟と言わんばかりだった。

だが、2年もたつと、この小さなリベラルな場所は居心地がよすぎるくらいに感じた。ウェズで受講したクラスは、心身治療についての人類学から1対1の授業に至るまで面白かった。

困憊こんぱいするような課題論文執筆から夜中にふとサンドイッチを探しに出かけるときまで、一緒にいてくれた友人は私の大学生活に生き生きとした彩りを添えてくれた。私と言い争いをした教授は、授業の課題論文から個人的な人間関係のいざこざまで、ウェズでの全生活の面倒を見てくれた。トマス・モアは新世界にあるユートピアに憧れたが、さながら私にとつてのユートピアはウェズリアンだ。

海外で学ぶ・リレーエッセー 34 米ウェズリアン大 ニューイングランドにある学生のユートピア

県立竹園高校（茨城県）卒、ウェズリアン大3年（執筆時）

羽鳥 静華はとりのしずかさん



大学でクラスメートと（右から2人目）=本人提供

海外留学を目指す高校生に進学支援を行っているNPO法人「留学フェロシップ」のメンバーが、海外のキャンパスライフをリレー連載します。留学フェロシップの詳細はウェブサイト(<http://ryu-fellow.org>)へ。

HONG KONG
ASIA'S WORLD CITY

香港杯全日本大学
学生大使
英語プログラム
2017-2018

香港と日本のかけ橋となる学生大使を募集します。香港と日本の交流を促進するアイデアを英語で発表してください。最終審査会で4人の学生大使を選抜し、2週間の香港研修へ派遣します。奮ってご応募ください。

募集期間

2017年9月5日(火)～12月11日(月)

予備審査結果発表

2018年1月5日(金)までにメールで審査結果を通知

最終審査会

2018年1月21日(日)
野村コンファレンスプラザ日本橋

問い合わせ

03-3216-7112(平日9:30-17:30)
hongkongcup@yomiuri.com

主催：香港特別行政区政府
駐東京経済貿易代表部
共催：ジャパン・ニュース
後援：外務省、文部科学省
読売新聞東京本社
協賛：キャセイパシフィック航空
大昌貿易行、香港政府観光局
香港貿易発展局、香港中文大学
日本香港協会



香港と日本のかけ橋となる
学生大使募集

次のテーマから1つ選び、
パワーポイントを使って
6分間の英語プレゼン
テーションをしてください。

ビジネス 1

まだ香港に入ってきていない日本製品または料理の一つを選び、香港市場でそれを売するためのビジネスプランを立ててください。

マスコット 2

香港と日本の友好と文化交流を促進するような新しいマスコットキャラクターを考えてください。

留学 3

香港留学をあなたの大学でプロモートするとしたら、どのように行いますか。

観光 4

あなたが香港を紹介する30分の旅番組(テレビまたはウェブ動画)のプロデューサーだとします。香港の魅力を紹介するユニークなアイデアを考えてください。

応募方法はホームページをご覧ください。
<http://www.yomiuri.co.jp/adv/hongkongcup2017/>

応募者全員に
1000円の
図書カードを
プレゼント!



香港杯全日本大学 学生大使 英語プログラム 2017-2018

予備審査とテーマ

以下のテーマから1つ選び、英語で3分間の発表要旨を録音してください。また最終審査会で使用するパワーポイントから5枚以内のスライドを選んでお送りください。

1. 香港に日本製品を売り込む

まだ香港に入ってきていない日本製品または料理の一つを選び、香港市場でそれを売るためのビジネスプランを立ててください。

ポイント

- 日本企業は香港に進出している外国企業のうち最大のグループで、約1,400社がさまざまな分野でビジネスを展開しています。
- 香港は2006年から一貫して日本の食品・農林水産物の最大の輸出先となっていて、それら輸出の24%が香港向けです。香港には多くの和食レストランがあり、いろいろな日本料理を提供しています。また、香港のスーパーなどではさまざまな日本の食品や食材が売られています。
- 日本製品または料理の中から、まだ香港市場に入ってきていないか、まだ一般的でないもの一つを選び、なぜそれを選んだか説明してください。
- 市場の分析やビジネスプランの概要を含め、あなたの提案を詳しく説明してください。

2. 香港と日本の友好を促すマスコットを考案

香港と日本の友好と文化交流を促進するような新しいマスコットキャラクターを考えてください。

ポイント

- くまモン、ふなっしーなど、地域PRにマスコットキャラクターを使うのは最近の日本のトレンドです。
- あなたの独創的なアイデアで、マスコットを考えてください。マスコットには名前を付け、デザインの画像やスケッチも用意してください。
- そのマスコットが意味するもの、香港と日本にどう関係するのかを説明してください。
- 香港と日本の友好と文化交流促進のために、そのマスコットをどのように活用したらよいでしょうか。

3. 香港留学をPR

香港留学をあなたの大学でプロモートするとしたら、どのように行いますか。

ポイント

- 香港は世界中からの留学生を歓迎しています。例えば日本の大学生には、学部や大学院への留学のほか、交換留学や短期語学留学などの選択肢があります。
- 日本の大学生にとって香港留学のセールスポイントは何でしょうか。逆に、懸念される事や心配な点は何でしょうか。
- 世界の都市の中から香港を留学先に選んでもらうため、日本の大学生にどのようにそのメリットを説明しますか。

4. 旅番組を制作

あなたが香港を紹介する30分の旅番組(テレビまたはウェブ動画)のプロデューサーだとします。香港の魅力を紹介するユニークなアイデアを考えてください。

ポイント

- 数多くの旅番組(テレビまたはウェブ動画)が、さまざまなやり方で観光地の魅力を紹介しています。香港の場合、グルメや夜景を中心に紹介されることがよくあります。
- あなたの番組は、通常の旅番組とは一味違うユニークな視点で香港を紹介してください。
- 番組の構想とロケ地、そしてその番組がなぜ日本人旅行者を香港に誘致することになるのかを説明してください。

応募方法

ホームページ(<http://www.yomiuri.co.jp/adv/hongkongcup2017/>)内の応募フォームに必要事項を入力し、以下のファイルを添付してください。

- ① 発表を要約した英語音声(MP3、WMA、M4Aなど) 3分間
- ② 英文スライド(Microsoft PowerPoint)をPDF化したもの5枚以内
- ③ 学生証の写真またはスキャニングデータ(JPG、PDFなど)

注意事項

- ①～③のファイル名は自分の氏名にしてください。
- 発表には自作のタイトルをつけて、②の英文スライドの1枚目に大学名、氏名を入れてください。
- ①の音声の冒頭に大学名、氏名を録音し、再生して聞こえ方を確認後、応募してください。
- 応募フォームは、必要事項を入力し①～③を添付しないと送信できない仕組みになっています。
- 送信できない場合は、事務局へ電話かメールでお問い合わせください。
- 応募作品は完全なオリジナル作品で、第三者の権利を侵害していないものに限り、応募フォームの「オリジナル作品であること等の確認欄」にチェックを入れてください。
- 表、グラフ、データを使用する場合は出典を明らかにしてください。
- 著作権や肖像権のある画像、動画、音声を使用する場合は、権利者から許諾を得てください。
- 応募された書類の個人情報事務局にて厳重に管理され、本プログラムの審査、発表、連絡のみに使用されます。
- 応募されたスライド、音声、マスコットデザインの著作権は主催者に帰属します。
- 入賞したマスコットデザインは、主催者が使用する場合があります。
- 入賞したマスコットデザインは、使用にあたり修正・変更する場合があります。

応募資格

日本の大学の正規の学生(大学院生は除く)で、英語を母国語としない方。国籍不問。

※英語を公用語とする国・地域の一覧は

<http://www.yomiuri.co.jp/adv/hongkongcup2017/> を参照。

※応募資格の最終判断は主催者が行います。

最終審査会

日時: 2018年1月21日(日)

場所: 野村コンファレンスプラザ日本橋 東京都中央区日本橋室町2-4-3

予備審査を通過した15人が、6分間の英語プレゼンテーション、3分間の審査員とのQ&Aを行います。最終審査会には新聞等で募集した一般観覧者も来場します。

注意事項

- 最終審査会では応募したスライドに加えて、別のスライドや動画も使用することができます。(枚数制限なし)
- 最終審査会で使用するPC、パワーポイント操作用リモコン、ピンマイクは主催者が用意します。
- 首都圏以外からの出場者はJR/航空券を手配します。関東地方以外の方には前夜の宿泊先も用意します。

審査員

一橋大学大学院 国際企業戦略研究科 教授 マイケル・コーバー氏
香港特別行政区政府 駐東京経済貿易代表部 首席代表 シェーリー・ヨン
香港政府観光局 日本局長 堀 和典氏
読売新聞東京本社編集局英字新聞部長 長谷川 由紀

審査基準

● 予備審査

内容、分析、提案	内容が豊富で興味深い。 分析が深くアイデアに独自性、創造性がある。
構成、スライド	発表に流れがあり論理的である。 スライドが工夫されている。
英語、発表	英語が自然で、速度が適度に調節されている。 発表に説得力と効果がある。

● 最終審査

内容、分析、提案	内容が豊富で興味深い。 分析が深くアイデアに独自性、創造性がある。
構成、スライド	発表に流れがあり論理的である。 発表用資料が工夫されている。
英語、発表	英語が自然で、 速度とジェスチャーが適度に調節されている。
学生大使としてのふさわしさ	香港への情熱と興味があり、聞き手に信頼と親しみを感じさせる様子で意思を伝えることができる。 質疑応答では、テーマに関する知識と独自のアイデアを基に、適切な返答をすることができる。予期せぬ質問にも冷静に対処できる。

※6分間を超過し、タイムキーパーがベルを鳴らしたら、出場者は発表を終了してください。

賞品

トロフィー	1位、2位、3位、敢闘賞
文部科学大臣表彰状	1位、2位、3位
エコノミークラス香港往復航空券	1位、2位、3位、敢闘賞
香港研修、香港中文大学短期留学(2週間)	1位、2位、3位、敢闘賞
図書カード3万円分	1位
図書カード2万円分	2位
図書カード1万円分	3位、敢闘賞
図書カード7千円分	上記以外の最終審査会進出者
図書カード千円分	応募者全員
ジャパン・ニュース無料購読6か月	1位
ジャパン・ニュース無料購読3か月	2位、3位、敢闘賞
希望者には日本の香港関連機関またはジャパン・ニュースで最長2週間のインターンシップ(交通費・宿泊費除く)	1位、2位、3位、敢闘賞

※敢闘賞は海外経験1年未満の学生が対象です。

t e l: 03-3216-7112 (平日9:30-17:30)
mail: hongkongcup@yomiuri.com
<http://www.yomiuri.co.jp/adv/hongkongcup2017/>